

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	観光商工課担当課長	廣川 正	
市民-13	重点事業	観光施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光商工課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	安全で快適な観光空間の整備	

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感が得られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。 公衆トイレの修繕を行い、清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保を行った。 東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、訪日外国人の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の増設・維持管理を行った。 民間が行う公衆トイレの新設に補助金を交付し、観光客の利便性を高めた。 平成27年度からの繰越となっていた鶴岡八幡宮裏公衆トイレ修繕設計業務委託を行った。 妙本寺公衆トイレの改修工事を行ったが、年度内に完了できなかったため、平成29年度に繰越した。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人 口	177,243人		176,869人		人 口	176,466人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,676世帯		80,928世帯		世 帯 数	81,150世帯		
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	11,505	65,165		当初予算(千円)	79,376		
	国県支出金	170	12,080		国県支出金	1,882		
	地方債				地方債	15,300		
	その他	6,650	10,890		その他	1,000		
	一般財源	4,685	42,195		一般財源	61,194		
	人員配置数	1.0	1.0		人員配置数	1.0		
事業経費	人件費(千円)	8,081	8,245		人件費(千円)	8,741		
	総事業費(千円)	19,586	73,410		総事業費(千円)	88,117		
	市民1人当りの経費(円)	111	415		市民1人当りの経費(円)	499		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 公益社団法人鎌倉風致保存会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	快適な観光受入れ環境を整えるため、屋内型Wi-Fi接続設備の促進支援を図るとともに、民間が行う公衆トイレの整備に対する費用助成を行う。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	観光客の利便性向上を図る屋内型Wi-Fi接続設備の設置を促進するため。老朽化した公衆トイレの修繕など施設整備にかかる経費が増大しているため。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	施設整備については、既存施設の耐久性を確認し、計画的な取り組みを進め長寿命化を図る。また、未整備地域においては、利用ニーズを見極め設置に向けた検討を図る。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	観光客の集中する地域のトイレの新設については、用地や財源の確保を検討する必要がある。また、「鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金交付取扱要綱」をより活用してもらうような周知啓発を行っていく必要がある。ハイキングコースについては、引き続き、落石や倒木などの危険箇所の把握と整備を実施していく。Wi-Fi環境整備事業は、整備エリアを含め、Wi-Fi接続設備の拡大を図る必要がある。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	公衆トイレの新設について検討を図った。また、「鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金交付取扱要綱」に基づき、浄智寺と公衆トイレ設置に向けた協議を行った。ハイキングコースについては、適宜倒木・枯れ枝の処分や危険標識テープの貼り付けを行った。Wi-Fi環境整備として観光客が多く集まる鶴岡八幡宮と建長寺に機器を設置した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、観光施設の整備を行うとともにハイキングコースの適切な管理を図る。Wi-Fi環境整備についても引き続き、設置に向けた取り組みを進める。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成27年) (単位:千人)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	22,926	18,335	3,024	6,922	4,538	8,723	889	5,918	48,592
比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、他市町村に比べ多いことが伺える。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%				
	実績値	79.2%	79.5%	76.6%							
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。										